

— 広 告 —

KIT  
キャンパス  
レポート ⑧  
文・出島二郎  
マーケティングプランナー



元起 和紀 (もとき かずき)  
金沢工業大学大学院工学研究科  
電気電子工学専攻  
博士前期課程二年  
富山県立滑川高等学校出身

## 身近なところに使われている モータを研究テーマにしました。

滑川には何度か行った。ホテルイカで知られる町だが、元起さんという姓は珍しい。でも十数軒はあるという。私の姓もそうだが、全国的には数少なくても、一ヶ所に集中してある姓なのだ。それにしても元起和紀はペンネームみないだな、というところから会話は始まっていった。

「北陸で私学ならば金沢工業大学と決めています。担任の先生の勧めもあって。学生に丁寧に教育をするところだね。電気電子工学科と機械工学科の両方受かって悩みましたが、身近な電気を選びました。深見先生は二年生との

タは教科書にも載っていないような新構造のモータなんですよ。」指導教授の深見正先生の専門は電気機器、回転機、モータ、発電機で、工学部長を兼務されている。金沢工大の電気工学科出身。学部四年で電気主任技術者第一種に合格。その快挙は当時マスメディアに大きく取り上げられた。

「一番の恩師は深見先生。パワーエレクトロニクスが専門の小山正人教授にもアドバイスをもらっています。この大学では、わからないことがあれば先生方や友達が教えてくれるし、サポート体制がしっかりしています。進路開発センターでも例年の傾向とか実際の試験を想定してやってくれます。就職は、企業理念や技術力に魅かされた三菱電機に内定しました。」

の駆動用モータに関するもの。三菱電機との共同研究で、その成果は日本経済新聞で紹介された。

「普通のモータとは構造もちがっていて、その目安となるものもなく、一から作るというのが難しい。試作機をほくが設計して作って、今は性能を確認しているんです。磁石の価格だけでいえば使用しているフェライト磁石は従来のネオジム磁石の十パーセント以下になるんですが、磁力は三分の一ぐらい。それを何とかできないかと。電気学会に所属して全国大会や国際会議で発表しました。」

元起さんは取材中、微笑みを絶やさなかった。思考の柔らかさから話題は脇道・横道にそれるが、しっかり本題に戻ってくる。主題を見つけると徹底的に追究する志の強さを感じてならなかった。

**金沢工業大学**  
石川県野々口市扇が丘七二  
電話番号 〇七六二二四八二〇〇